

九重の高原から

TAKE FREE

九重ふるさと自然学校通信

Vol. 32

さとばる時間

2015. 秋号

九重のさとばる【里の草原】で育まれてきた自然や文化、そしてそこに流れるようなのんびりとした時の流れを感じてほしいという願いを込めて、「さとばる時間」と名付けました。

くじゅうびの
秋を
あるじつ。

特集

巡るめく魅惑のロングトレイル。

九州自然歩道

- 九重のんびりハイク。参加者募集！
- くじゅうびと“九重のまちしりめいじん”
- ふる探の「有明海 干潟キャンプ」レポート
- 2015 春夏プログラム“フォト集”

特集

巡るめく魅惑のロングトレイル。

九州自然歩道

Kyushu Nature Trail



楽しみ方は
自由にいろいろ！

←“でんでんむし”のシンボルマーク

九州自然歩道は、1980年に開通した長距離自然歩道の1つです。「えっ、そんな歩道あったの？」という方が、ほとんどでしょう。その距離なんと、約3,000km！福岡県北九州市の皿倉山と鹿児島県佐多岬を起点・終点に、ぐるっとひとつなぎに結んでいます。

大分県は全長163km。ルートは、県西部の山間部を主に縦貫します。福岡県から入り、中津市本耶馬溪町の青の洞門から紅葉の名所・耶馬溪を抜けて玖珠へ。切株山や万年山という玖珠のシンボルを踏破すると、いよいよくじゅう連山です。その間には、宝泉寺、湯坪、筋湯、長者原という九重を代表する温泉地を経由します。酸性緑礫泉、硫黄泉、弱アルカリ単純泉など多彩な泉質や冷泉まで愉しめる、まさに温泉極楽コース。そして深山に歩を進めると、山男&山ガールの癒しの地「坊ガツル」に到着。歩いた人だけが入れる秘湯・法華院温泉もあります！

それからくじゅうの山を下りると、久住高原へ。雄大な草原を眼前にしたのち、長湯温泉を抜け、豊後大野・竹田市街方面を目指します。用作公園や岡城址などの史跡を訪ね、日本百名山の祖母山から宮崎県の高千穂へと続きます。ふり返るだけで、大分の自然や歴史、文化が詰まった163kmです。

どうですか、ちょっと歩きたくなつたでしょ？

- * 日帰りで少しずつ
- * 体力に合わせたルート選び
- * 行ってみたい場所から攻める
- * 季節ごとに同じルート歩き
- * 温泉 to 温泉めぐり
- * 山登りルートのように絞る
- * 毎回違うルートでめざすは完全踏破！



九州自然歩道のお役立ちサイト

【ルート図】九州自然歩道ポータル <http://kyushu.env.go.jp/naturetrail>

【各種情報】九州自然歩道フォーラム <http://www.kltf.info>

秋もみどころ満載
九重ルート

紅葉！温泉！ 銀世界のススキ原



左上から時計回りに 長者原周辺の森/筋湯温泉街/筋湯うたせ湯/紅葉の絨毯/湖畔で青空ランチ/タデ原湿原/リンドウ/シラヒゲソウ

九重の様々な分野で活動する人にお話を聞く連載記

くじゅうびと

Vol.5

ディープな九重
歩いて発見

ふるさと探訪ウォーク 主宰
山本 幸雄さん



「62」。この数字は、この約5年で行った「ふるさと探訪ウォーク」の回数だ(8月24日現在)。今から17年前に京都から大分県九重町に移住した山本さん。町のまちづくり委員に任命された時、「日本一の田舎づくり」をめざす町にとって必要なことを考えた。

「町づくりは、そこに暮している住民が自分たちの住む場所を理解しないことには始まらない。」と、町内をくまなく歩いて、自然や歴史、文化など、町の隠れた“えとこ”を参加者で共有する「ふるさと探訪ウォーク」を始めた。ガイドは山本さんがメインだが、その地域の詳しい説明は出身地の参加者にしてもらう。町民が主役のまち歩きだ。このウォークをすると、「普段見ている何気ない景色が違って見えてくる。毎回、新しい発見がある」と言う。中には、懐かしい風景や人との出会いに感激する参加者もいるそうだ。そんな魅力的なまち歩きだからこそ、リピーターも多く、30回参加した人は「このえまちしり名人」に認定される。すでに12名が名人となり、ウォークを

通じて九重町の語り手を育てている。「歩くことは健康にもいいけど、なにより心が解放される。頭が無意識になるから、普段気づかないようなものまで見えてくるし、感じられる。健康になれば生き方も変わる。人生、毎日楽しく過ごせればこんな幸せなことないやん。住んでいる人が楽しそうやったら、きっと町の魅力もグッと増すと思うんやけど。」と、京都弁の小気味いいトークも参加者の心を惹きつける山本さん。地元だからこそ！知られざる九重の魅力をさがして、今日も歩く。



(写真提供: 山本幸雄氏)

歩いて...じゃないけど

有明海まで行ってきました！

ふるさと探検クラブ 「夏の干潟キャンプ」

九重町子どもたちによる探検クラブ(九重町共催)の今年のテーマは「筑後川」。5月に町内にある源流域(指山湧水やタデ原湿原)を探検し、その水が注ぐ“生きもの豊かな田んぼ”で田植えを行いました。それに続く活動として、8/7~9に「夏の干潟キャンプ」へ。



エビだ〜



泥だらけ楽しい〜

「くじゅう山系から湧き出た水は、その後どうなっているのだろう？」と筑後川の中・下流域を探検してきました！有明海の干潟で遊んだり、伝統的な漁法(ムツかけ漁やくもで網漁、鵜飼い)で魚捕りをしたり、現地の方との清掃活動やお話を通じて交流を深めました。筑後川や有明海にすむ生きものたちと、流域に暮らす人々にたくさん出会えたキャンプでした。今後は、ふるさとの九重の自然を守るために何が出来るかを考えていきます。



鵜飼の
鵜匠さんよりお話

九重おすすめコース 【入門編】

ちょうじゃばる まきのとうげ
＜長者原 → 牧ノ戸峠ルート＞



長者原から望む硫黄山



長者原
ビジターセンター

牧ノ戸峠

第1展望台

第2展望台

香掛山

出典：国土地理院 1/25,000 湯坪

所要時間：90分
距離：約4km 標高差：300m

※ルートは九州自然歩道ポータルのハイカーズマップもしくは市販の登山地図などを参照してください。

九重のんびりハイク。 秋の九州自然歩道を歩こう！

10.24(土) 紅葉や銀色に輝くススキ鑑賞
10:00-16:00 地獄で温泉卵づくり、温泉の足湯体験など

＜参加費＞大人500円 子ども300円
※8km以上歩ける小学生以上対象
＜集合＞10:00 長者原ビジターセンター
＜問合せ＞当校 TEL0973-73-0001 まで

春の草原散策と
桜餅づくり

4.25(Sat)

美味しく
できるかな?



クロモジの枝で
楊枝もつくったよ!

田んぼの生きものしらべ

6.27
(Sat)



わお。たくさんとれた!

大人も
子どもも夢中!

5.16 (Sat)

トキもすめる
田んぼづくり

5.23(Sat) 田植え ▶

▼ 7.11(Sat) ヒエ取り



湯苗 植えるよ!



草とりしながら
生きものみつけ!



プログラムへのご参加 2015 春・夏
ありがとうございました!

各プログラムの詳しい内容は >>

九重ふるさと自然学校

検索

初夏のタデ原
バードウォッチング

6.13(Sat)



どこだ!
ドコダ?
あ、いた〜!



“ホオアカ”に
たくさん
出会いました。

草原の草花あそびとちまきづくり

6.20(Sat)



ヨシの葉っぱの香りが
爽やかで美味し〜い!

自然散策で草笛も吹いたよ!

野生動物を
探しにいこう

7.25(Sat)
-26(Sun)



野ネズミ捕獲!

夏の
ボランティア
ワークキャンプ

7.4(Sat)-5(Sun)



立派な栈橋が完成!

大人たちが熱中した
栈橋づくり!

17人乗っても
だいじょ〜ぶっ!



可愛いさに見とれて観察中。

川の
生きもの
しらべ

8.1(Sat)



流されるのも
楽しい!

小魚ゲット!!

2015 年下半期
プログラム
申込受付中!

くじゅうの自然を守りたい。

ボランティア

スタッフ 募集中

詳細はホームページにて。

【編集・発行】

さとばる時間 2015. 秋号

2015年9月1日発行

写真提供: 長者原ビジターセンター
九重町役場

九重ふるさと自然学校 (運営: 一般財団法人セブンノイレブン記念財団)

〒879-4911 大分県玖珠郡九重町大字田野1624-34

TEL: (0973) 73-0001 FAX: (0973) 79-3434

Eメール: kujyu-sizengakkou@7midori.org

当校 MAP は
こちら ▶▶



ホームページ
http://www.7midori.org/kokonoe

Facebook
http://www.facebook.com/kujyusizengakkou